

第3次小城市総合計画 第5回まちづくり市民会議開催報告

まちづくり市民会議の
様子は小城市HPからも
ご覧いただけます



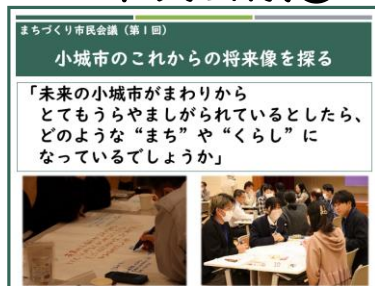
～将来像のキャッチフレーズを考えよう！～



まちづくり市民会議の全体スケジュール

R5.11月

▲ 市民会議①



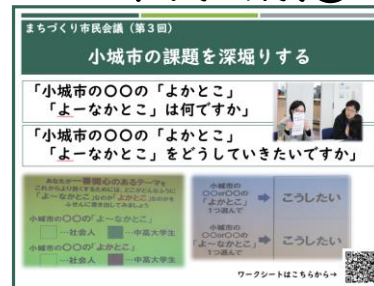
R5.12月

▲ 市民会議②



R6.2月

▲ 市民会議③



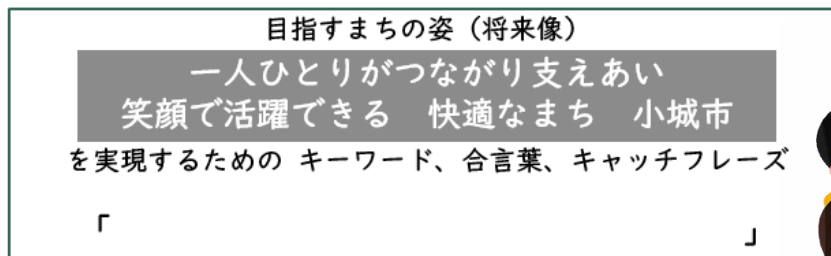
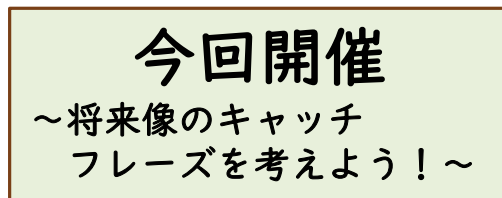
R6.3月

▲ 市民会議④



R7.1月

▲ 市民会議⑤



目指すまちの姿（将来像）ができるまで

第2次総合計画目指す将来像

「誇郷幸輝」 ～みんなの笑顔が輝き
幸せを感じる ふるさと小城市～

第1～4回
まちづくり
市民会議での意見

市民アンケート
R5.4月実施
将来像キーワード

審議会での意見

人と繋がることで幸福度が増す 地元愛
人と人との繋がりがある 全世代が元気
人が集まるまちは魅力的 小城のことが好きと自慢できる
小城に対しみんなが自信を持って誇りを持つことができる
人々、人と企業、すべては繋がることから始まる 子どもから大人まで活力あるまち
市民ひとりひとりにとって誇れる市⇒自発的な行動に繋がる 資源も含めみんなが主役
市に愛着を持つと熱心な活動に繋がる
住みやすい、戻ってきやすいまち 幸福満足度が高いと自然と住むまちに誇りを持てる
人と人が交わることで、歴史・文化・環境が繋がり継承され応援してもらえるまち

継続性

目指すまちのすがた(将来像)

一人ひとりがつながり支えあい
笑顔で活躍できる 快適なまち 小城市

まちづくり市民会議（第5回）

2025年1月19日（日）9:30～12:00 @ゆめぷらっと小城天山ホール



市民参画アドバイザー
加留部 貴行さん

市民等参加者 33人
(うち高校生6人、大学生1人)

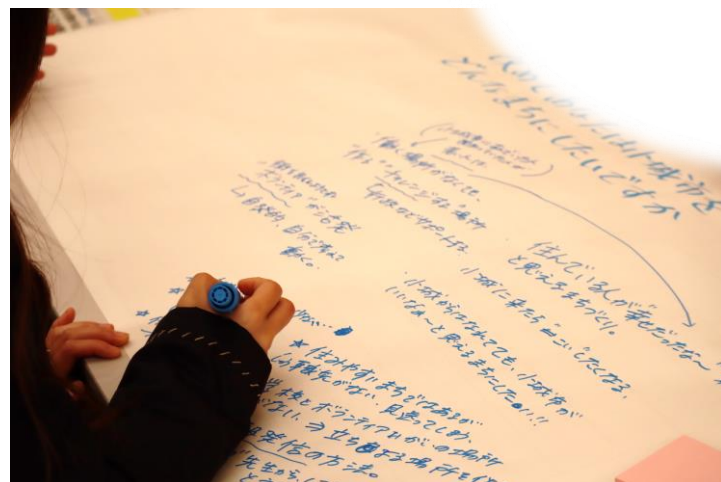
まちづくり市民会議（第5回）

対話① 小城市の「これからのまちの姿」

①これまでの経緯を共有しつつ
小城市の「将来像」について
改めて語り合います



改めてあなたは小城市を
どんなまちにしたいですか



まちづくり市民会議（第5回）

対話① 小城市の「これからのまちの姿」

改めてあなたは小城市を
どんなまちにしたいですか

こども・子育て

移動しやすいまち（公共交通手段が少ない）（学生）

学生が通学しやすい
（学校～駅間）（電車の待ち時間を過ごせる場所がある）

若者が遊べるところがある（お金がかからない、フリースペース）
（社会人もコワーキングスペースとして利用できる）

若者が働く場がある

子育て世代が頼れる（相談できる場所）

住生活環境

景観がよいまち（歴史ある街並み・豊かな自然環境を大事にできる）

子どもと大人が一体になれる（公園などの一緒になって遊べる場所がある）

- 高齢者・若者層へも情報が行き届く
- 住みやすさが伝わる
（既に住みやすい、ただ伝わっていない）
- 住んでいる人が「幸せ」を感じられる
- 自分自身が「好き」と思えるまち
（自信がなくてもOK）

福祉・共生社会

移動しやすいまち（公共交通手段が少ない）（高齢者）

「つながり・支え合い」と「個人の尊重」 多様な価値観を尊重できるまち（⇒「強制」しないが「共生」につながる）

多様な価値観を持った人がそれぞれの立場で安心して暮らせるまち（⇒若者が自然と集まる）

といった意見も挙げられました

ワークシートはこちらから→



まちづくり市民会議（第5回）

改めてあなたは小城市を
どんなまちにしたいですか

対話① 小城市の「これからのまちの姿」

資源・産業・交流	協働・まちづくり
目的地になる（市外向け）（ランドマークが欲しい）（「小城に行きたい!」ってなる）（食べ歩き、お土産）（駅周辺にあったらよい）（目的地となるものが集約されていればよい）	自分達で考え、行動できる人が多いまち
若者が遊べるところがある（お金がかからない、フリースペース）（社会人もコワーキングスペースとして利用できる）	まちを良くしようとするボランティア活動が活発なまち
帰ってこようと思うまち（就職先）（就職先の情報が入ってこない⇒小城市で働くという選択肢がまず出てこない。進学等で一度出ても戻ってきたいと思える市になればいい。）	「まちのためにどがんかせんば」を活かせる、「チャレンジ」できる場所がある（行政のサポートがある）
「癒し」があるまち（温泉、動物とふれあえる、宿泊施設など）（ストレス社会⇒息抜きできる、癒しを感じる⇒幸福度）	人と人のつながりを大事にできるまち（子育て・教育・介護…一人ではできない）
地場産品を活かせるまち（6次産業、ワークショップなど）	市の施策に対して、市民みんなで取り組めるまち（各地区（旧町）の温度差がない・市一体となって取り組める）
小京都として歴史・文化を大事にできる（維持する）（継承する）（発信する）	実現に向けて・・・ PRが上手なまち（いいものはたくさんある）（SNSを上手く活用する）（口コミを大事にする）（開きたくなるようなサイトを作る）（「共有」の意識醸成）
景観がよいまち（牛津駅周辺を中心に）（映えスポット）	
豊かな自然環境を活かせる（天山⇒有明海）（ピクニックコースを作る）	
地域のイベントを残す（お祭りなど 人口は減っていく、旧町単位ではなく市としてやっていく）	
地域内外との交流・つながりを大事にできる	

まちづくり市民会議（第5回）

対話② 小城市のめざす「まちの姿（将来像）」の 「キャッチフレーズ」を考えよう

目指すまちの姿（将来像）

一人ひとりがつながり支えあい
笑顔で活躍できる 快適なまち 小城市
を実現するための キーワード、合言葉、キャッチフレーズ

「

」



小城市の
「将来像(まちの姿)」を表す
キャッチフレーズを
考えてみてください



将来像のキャッチフレーズ

	将来像のキャッチフレーズ	考え方
1	このまちが私自身です ～主役は私です～	現在へつながり、継承され、今の小城市がある ⇒ バトン、人生 こどもから大人まで自発的に活躍できる ⇒ 歩きつづける走りつづける 地域外との交流、人の流れ ⇒ サークル
2	「私が小城市です。」 ～あなたが小城市をかたらんね～	小城市についてどれだけ語れるかという誇りや愛着を示すイメージ 自分が主人公になって、名刺を差し出すイメージ 小城市の表面的な情報ではなく、自分が体験した小城市での出来事をどれだけ語れるか
3	だれもが主役 安心できるまち	市民一人ひとりが主役になれる 安心（ほっとする・できる）まち
4	ひとりひとりの笑顔と共生するまち	誰もが共に生きる（共生）、誰一人取り残されないまち 個人一人ひとりの尊厳を大切に、自分らしく生きれる、誰もが主人公になりうるまち
5	つなげる 広がる 未来へ 私が笑顔の「小城市」	世代を超えて「つながる」ことで、協働の和が「広がる」、それを「未来」へバトンとしてつなげていく。 「私」が主人公で「私が小城市」
6	「個（わたし）」と「個（あなた）」がほどよく繋がり、 支え合うまち おぎ	「個（わたし）」と「個（あなた）」がほどよく繋がれ、「支えあう」ことができるまち
7	つながってわたしたちで創ります小城市	人とのつながり、交流、協働の視点から 一緒に、共に、創るという考え方

将来像のキャッチフレーズ

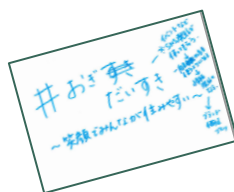
	将来像のキャッチフレーズ	考え方
8	私、真ん中でつなぎます	私（小城市）が主人公 佐賀の真ん中という地理を活かして、市民同士、そして周辺地域との「つながり」を活かしていく
9	やってみよう!の輝く基地 わたしたちの小城市	わたしたちのまちという意識をもって「やってみよう!」を合言葉に住んでいる人が輝ける
10	通り道⇒（から）目的地へ ～みんなで創る秘密基地 小城市～	通り道ではない 生まれてから死ぬまで（生涯）この地で活躍できる 市外から小城市を目指してくれる という思いを込めて
11	安心・安全+癒し=小城市	幸せに生きれる（Well-being）には、生きやすさ、心の豊かさが大事。 安心して安全に生きれる。ストレス社会⇒癒し（リラックス）が必要。
12	ただ、好き。小城。	理由はない、好きなものは好き。「自慢できる」とは違う、ただそれぞれが小城が「好き」だと思える。 ホッとする、受け入れてくれる、安心、温かい、つながる、ひろがる、ふくらむ…⇒好きが溢れる状態
13	#おぎ だいすき ～笑顔でみんなが住みやすい～	市民、若者などにも馴染みやすいハッシュタグ⇒イベントなど、SNSで使ってもらい市の情報発信でも活用できる⇒ブランド価値づくり キーワードの考え方…①「楽しく（笑顔で）」過ごせる ②充実した生活（住みやすさ・やすらぎ）が大事。「楽しい」は個々の感想を便り（頼り）にする＝情報発信（SNS）を活用する。
14	願いが届き、集まり、叶う場所	願いが届き、集まり、叶う環境であることで、「住みたい」「住み続けたい」につながる

将来像のキャッチフレーズ

	将来像のキャッチフレーズ	考え方
15	かたり合える 小城市へ	協働の観点から、「語る」と「かたる（佐賀弁で参加する）」をかけて、「かたり合える小城市へ」
16	フリーふらっと ふらーとかたりあう 私とあなたのまち	また「ふらっと」行きたいと思えるまち（地元じゃない人も） 「ふと」した瞬間にいいなを感じれるまち（居心地よい居場所づくりを自分たちで） 「ふらっと」に話せるまち（色々な世代と話せる・一つの空間をみんなで共有できる）
17	好繋輪協	繋がる輪 好→繋→輪→協 「好」きが「繋」がり、「協」働の「輪」が生まれていく
18	しあわせにするまち	小城に関わる全ての人の希望・願望を現実に（働きたい、チャレンジしたい、集まりたい、住みたい、遊びたい、帰ってきたい…） 過去・現在・未来へのバトン（こどもから高齢者まで） 心（安心、思いやり）があるまちに し：就職したい あ：集まりたい魅力 わ：輪がある せ：世代を超えて に：にっこり（笑顔） す：住みたい る：ルール、役割がある
19	「住労快適 市民協働」	住む、仕事する、学ぶ、遊ぶ 快適な環境をつくる 計画は行政、市民、事業所が一緒になって（協働で）進める

将来像のキャッチフレーズ

	将来像のキャッチフレーズ	考え方
20	活誇（かっこ）いいまち	活＝活力がある 誇＝誇れる まちを目指して
21	発信！	特産品や歴史、文化などの今あるいいところが発信できていないのがもったいない。魅力のいっぱいあるところ、「あるもの」をアピールしていく。
22	好きとおもえるまち 小城で自分らしい暮らし	
23	皆が繋がり、未来を笑顔で話し合えるまち おぎ	「和」「輪」「支」
24	佐賀の中心、発信の中心 小城市	ずっと居たいと思える
25	老若男女 幅広い年代に快適で安心できる環境を	
26	ふらーとかたりあう 私とあなたのまち	
27	つながりを大切にみんなでつながる！ 一人ひとりが輝くまち	通り道ではない 生まれてから死ぬまで（生涯）この地で活躍できる
28	住みたいまち おぎし	誰も（こどもからお年寄りまで）が安心・安全なまち、隣人愛

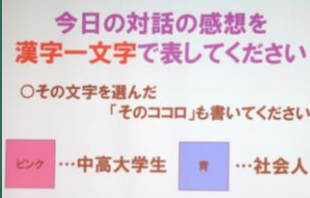


ワークシートはこちらから→



まちづくり市民会議（第5回）

本日の対話の感想（参加者）



約1年ぶりの開催となりましたが・・・



話すこと、語ることで、知る・考える・確かめることが
できたといった意見が多く挙げられ、
対話の重要性を再認識できる機会となりました。